

議長サマリー(仮訳)

G7首脳は、コミュニティ及び世界をより安全にし、エネルギー安全保障を促進し、デジタル移行を加速させるとともに、未来のパートナーシップを促進することにより、より強固な経済基盤を構築することを目的として、2025年6月15日から17日にかけてアルバータ州カナナスキスに集まった。

G7は、1975年の設立から50年を経た今もなお、先進国が金融及び経済政策を調整し、平和と安全に関する問題に取り組み、グローバルな課題への対応において国際的なパートナーと協力するためのプラットフォームとしての価値を示し続けている。

G7首脳は経済発展に焦点を当てた。G7首脳は、市場変動の高まり、国際貿易へのショック並びに分断化及び世界的な不均衡の長期的な傾向の文脈の中で、投資及び成長を促進するための、より高度な経済及び金融の安定、技術革新並びに開かれた予測可能な貿易体制の必要性について議論した。

G7首脳は、生産性向上及び経済成長のための世界貿易における協調の在り方を検討し、エネルギー安全保障及びデジタル移行を強調した。G7首脳は、両者が安全かつ責任ある重要鉱物サプライチェーンに支えられており、G7内及びG7を超えた更なる連携が必要であることを認識した。G7首脳は、労働者及び企業に有害な形で市場を歪め、過剰生産をもたらす不公正な非市場的政策及び慣行から自国の経済を守ることを約束した。これには、多様化及び重大な依存関係の低減を通じたデリスキングが含まれる。G7首脳は、カナダ主導の新たなG7イニシアティブである「重要鉱物生産アライアンス」を歓迎し、先端製造業及び防衛産業への供給を確保するために信頼できる国際パートナーと協力していく。

G7首脳は、ウクライナにおける公正かつ持続的な平和の達成に向け、トランプ大統領の取組への支持を表明した。G7首脳は、ウクライナが

無条件での停戦にコミットしていることを認識し、ロシアも同様の行動をとるべきであることに同意した。G7首脳は、金融制裁を含む、ロシアへの圧力を最大化するためのあらゆる選択肢を模索することに断固とした態度をとっている。G7はヴォロディミル・ゼレンスキー・ウクライナ大統領及びマルク・ルッテNATO事務総長と会談し、予算上の防衛策並びに復旧及び復興支援を含む、強く、主権を有するウクライナへの支援について議論した。

G7首脳は、中東における平和と安定に対するコミットメントを改めて強調した。G7首脳は、2023年10月7日のハマスによるイスラエルに対するテロ攻撃及びイスラエルとイランの進行中の紛争を受けた、変化する情勢について意見交換を行った。G7首脳は、ガザへの妨げられない人道支援、全ての人質の解放及び即時かつ恒久的な停戦の重要性について議論した。G7首脳はまた、永続的な平和をもたらすためのイスラエル・パレスチナ紛争の交渉による政治的解決の必要性についても協議した。G7首脳は、イスラエルの自国を守る権利を確認し、イランが決して核兵器を保有してはならないことについての立場を明確にした。G7首脳は、一般市民の保護の重要性を強調した。G7首脳は、国際的なエネルギー市場の安定を守るために連携する用意があることを表明した。G7首脳は、この危機の解決が、ガザにおける停戦を含む、中東における敵対行為のより広範な沈静化に繋がることを強く主張した。G7首脳は、イスラエル及びイランの間の最近の情勢に関するG7首脳声明を発出した。

G7首脳は、法の支配に基づく、自由で、開かれた、繁栄し、安全なインド太平洋の重要性を強調し、地域との経済協力の拡大について議論した。G7首脳は、中国との建設的かつ安定的な関係の重要性を強調しつつ、中国に対し、市場の歪曲及び有害な過剰生産を控え、グローバルな課題に取り組み、国際的な平和と安全を促進するよう求めた。G7首脳は、中国による東シナ海及び南シナ海における安定を損なう活動に対する現在の深刻な懸念、並びに台湾海峡の平和と安定を維持することの重要性について議論した。G7首脳は、北朝鮮の核兵器及び弾道ミサイル計画に対する懸念並びにこれらの計画の資金源となる北朝鮮の暗号資産

窃取に共に対処する必要性を表明した。また、拉致問題の解決の必要性についても提起された。G7首脳は、ウクライナ、中東及びインド太平洋における危機地域間の相互関連性を認識した。G7首脳は、アフリカ及びハイチを含む他の危機及び紛争についても議論した。

G7首脳は、コミュニティの安全及び安心を確保するという決意を強調した。G7首脳は、権利と自由、国家の安全及び国家主権に対する国境を越えた抑圧という受け入れられない脅威を強調し、外国からの干渉を非難した。首脳は、最近の成功事例に言及し、国境警備を促進し、移民の密入国及び違法な合成薬物の取引に対抗するための現行の連携の重要性を強調した。首脳は、出身国及び経由国との協力の必要性を強調した。首脳は、世界中で増加する異常気象の影響について議論した。首脳は、住宅や生態系を破壊し、汚染及び排出を引き起こしている山火事を防止し、これと闘い、及びこれに対応するための更なる国際的な協働の必要性を強調した。

G7は、マタメラ・シリル・ラマポーザ・南アフリカ大統領、ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ・ブラジル大統領、クラウディア・シェインバウム・メキシコ大統領、李在明・大韓民国大統領、ナレンドラ・モディ・インド首相、アンソニー・アルバニー・豪州首相並びにアントニオ・グテーレス国連事務総長及びアジャイパル・シン・バンガ世界銀行総裁のサミットへの参加を歓迎した。首脳は共に、技術及びイノベーションの進歩、重要鉱物サプライチェーンの多角化及び強靱化、インフラ整備、投資の動員に重点を置きつつ、変化する世界におけるエネルギー安全保障について連携する方策を特定した。首脳は、気候及び環境への影響を軽減しつつ、エネルギーへのアクセスと低廉性を向上させるための公正なエネルギー移行及び持続可能で革新的な解決策について議論した。首脳は、エネルギー安全保障を含む共有された繁栄に対する紛争の拡大の影響、及び共有された平和に向けて取り組む必要性について議論した。

首脳及び招待国は、包摂的な経済成長を促進し、持続可能な開発を前進させるために、民間部門、開発金融機関、国際開発金融機関を含む

既存及び新規の信頼できるパートナーとの連携構築の重要性について生産的な議論を行った。民間資本の動員を含むこれらの議論を継続する機会として、来る国連の第4回開発資金国際会議が提起された。

G7首脳は、全ての人々に利益をもたらす具体的な成果についてパートナーと協働することに同意した。このために、首脳は6つの共同声明に同意した。それらコミットメントには以下のことが含まれる。

- 未来の経済を支える高水準の重要鉱物サプライチェーンの確保
- 官民の部門全体における安全で、責任ある、信頼できるAIの導入の推進、現在及び将来にわたるAIの稼働、及びデジタル格差の解消
- 経済成長、世界的な課題の解決及びコミュニティの安全確保のために、量子技術の潜在力を最大限に引き出すための協力強化
- 世界中で増加している山火事をより良く防止し、これと闘い、及びこれから回復するための多国間の取組の増大
- 国境を越えた抑圧に焦点を当てつつ、外国からの干渉との闘いを継続することによる、社会の全ての人の権利及び国家主権という基本的原則の保護
- 国際組織犯罪集団の解体による移民の密入国への対策

G7首脳は、多くのアウトリーチ・パートナーによる重要鉱物行動計画及びカナナスキス山火事憲章への支持を歓迎した。

カナナスキス・サミットでの議論は、ジェンダー平等による社会的及び経済的利益を強調したG7ジェンダー平等アドバイザー評議会(GEAC)及び全てのG7エンゲージメント・グループの報告を受けて行われた。

G7は、共有された優先事項を進めるために、地方政府、先住民、市民社会、産業界及び国際機関を含む国内及び国際的なステークホルダー及びパートナーと協力することに引き続きコミットしている。

G7は、2025年を通してカナダの議長国の下で活動を続け、2026年のフランスのリーダーシップに期待する。

(了)